人・もの・ことの“つながり”を大事に

# 共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください

令和７年４月25日発行
第３号
中信教育事務所

↑
過去の「共に歩まん」はこちら

←過去の「マナビィ通信」はこちら

**４月15日（火）に「初任者研修　スタート研修」を行いました。今回の研修では、初任者の先生方が、これからの期待や不安を語り合い、仲間とつながる機会となりました。**

## 仲間と共に

人と
つながる

～初任者の声～
子供、保護者から信頼される教師になりたい。そのために第一に勉強。新しいことにチャレンジしていく。第二に学ぶ。仲間や先輩から学んで、子供たちに還元していきたい。

**アドジャンをしてアイスブレイクを行った後、初任者の先生方は「児童生徒（学生）」として見てきた学校を、「先生」として見ることについて、語り合いました。「子供の成長に立ち会える喜びを感じると共に、授業づくりの不安や、責任の重さを感じている」と語る先生の横で、大きくうなずく先生がいました。仲間がいることを再確認し、安心感と心強さを感じる時間となりました。**

## 子供と共に

想いが
つながる

～初任者の声～
子供が何を考え、どんな気持ちなのかを探っていきたい。そのために、「〇〇さんは～～だから」と決めつけることはしないように心がける。勉強面だけではなく、友とのかかわり方のよさ等も見ていきたい。

**初任者であっても、受けもつ学年や教科、経験年数は様々でしたが、語り合いの中で共有されたことは、「子供たちの笑顔をたくさん見たい」、「誰もが安心して過ごせる学級にしたい」という想いでした。語り合いは、お互いの「目指す教師像」にまで発展し、今後、取り組んでいきたい授業づくり、学級づくりのヒントを得ることができました。**

研修の後半では、目指す教師像を仲間と語り合う中で、子供への温かい眼差しをもちたい、授業をよりよくしたい、子供たちのために学び続けたいという想いがつながっていきました。今年度の初任者研修を通して、このつながりが一層強くなることを願っています。仲間や子供と歩み始めた初任者の先生方と一緒に、私たちも学び続けていきましょう。

市町村担当者の中にも、初任者の先生方のように期待や不安を抱えてスタートしている方がいらっしゃると思います。5月にある社会教育・社会人権教育・生涯スポーツ振興の担当者会では、担当者同士が語り合い、つながる機会になればと考えています。各担当者会へのご参加をお待ちしています。

令和７年度、学校教育課と生涯学習課の統合に伴い、「共に歩まん」は今年度より、学校、地域の皆様に向けて、情報を発信していきます。